

第2回避難問題研究会

日 時：平成23年5月25日(水)

会 場：愛媛大学社会連携推進機構2階 研修室

参加者：木村（新居浜市）、津国（上島町）、西村・片岡（四国地方整備局）、
山本・安倍・長井・大政（愛媛県危機管理課）、二神（愛媛大学）、畑田（愛南町）、
渡部（東温市）

議事内容：

配布物：国土交通省の東日本大震災への取り組みについて

愛媛県市町の要援護者支援プランの状況

新居浜市の要援護者支援プラン策定経過と課題

2011年5月日付愛媛新聞記事 愛媛大学による津波避難調査報告

二神より、配付資料確認の後、上記資料を用いて意見交換を行った。討議内容は以下の通りである。

○国土交通省の東日本大震災への取り組みについて

愛媛県内での対応状況ならびに、現地での取り組みについて、四国整備局より説明が行われた。四国での津波を想定した通行規制や、現地での、「くしの歯」作戦による道路復興についての報告が行われた。

○愛媛県市町の要援護者支援プランの状況

愛媛県危機管理より、県内市長の要援護者支援プラン策定の状況について報告があった。個人情報取り扱いの問題で、情報収集が進まないなど、全体計画の策定後の個別プランの進捗に大きな遅れがあり、今後の喫緊の課題であることを確認した。

○新居浜市の要援護者支援プラン策定経過と課題

平成16年台風災害時の要援護者への対応を反省し、平成18年度以降の取り組みについて報告が行われ、地域支援者が見つかりにくい等の課題を確認した。

○2011年5月日付愛媛新聞記事 愛媛大学による津波避難調査報告

二神らが実施した、県内の津波避難に関する行政・自主防災・住民アンケート結果からも、行政・自主防災が、要援護者の情報を十分把握していないことが明らかになった。また、住民アンケートから、避難した住民が2時間以内にほとんど帰宅しており、南海・東南海地震時の避難行動が危惧されるため、早急な対策を考える必要があることを確認した。

○全体を通じて

参加された行政地域の災害リスクが異なるため、今後、地域の災害リスクに応じた、避難の問題と課題を抽出し、意見交換を行うことを確認した。

○今後のスケジュールについて

今回の議論を踏まえ、メールにて連絡する予定である。